

講義名	フィールドワーク法			授業形態	
担当教員	正井 佐知	開講期・曜日・時間	前期 金曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

フィールドワークは、観察やインタビューを通して、社会を理解するための調査手法である。本講義では、さまざまな質的データの収集および分析方法について学び、現場から得られる知見の価値と特徴を理解する。さらに、実際に、フィールドワークを企画・実施し、調査結果の整理・分析までの一連のプロセスを体験する。

到達目標

フィールドワーク法の実践として、インタビュー調査を実施する。その結果について口頭発表とレポート作成ができるようになる。

提出課題

毎回講義を受講した後、LMS（学習管理システム）等でワークシートやコメント等を提出する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

各回の課題でのコメント・質問に対し、応答する。
LMS（学習管理システム）等で応答することもある。

評価の基準

授業毎のレポート（30％）
中間報告・発表（20％）
インタビュー調査（期末課題）（50％）

履修にあたっての注意・助言他

本科目は、社会調査士の資格認定に必要なF科目：「質的な調査と分析の方法に関する科目」に該当する。

教科書

.初学者のための質的研究26の教え.	中尾洋	医学書院	1,980	4260024051

参考図書

.フィールドワーク 書を持って街へ出よう 増訂版.	佐藤郁哉	新曜社	2,420	4788510302

その他

授業計画

1. フィールドワーク法とは
予習内容：シラバスをよく読んでおく（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、復習課題に取り組む。質問がある場合は質問を準備する（120分）
2. 質的調査とは
予習内容：指定されたテキスト範囲・配布資料を読んでおく（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、復習課題に取り組む。質問がある場合は質問を準備する（120分）
3. 質的調査の種類 : 参与観察法
予習内容：指定されたテキスト範囲・配布資料を読んでおく（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、復習課題に取り組む。質問がある場合は質問を準備する（120分）
4. 質的調査の種類 : インタビュー法、ライフヒストリー法
予習内容：指定されたテキスト範囲・配布資料を読んでおく（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、復習課題に取り組む。質問がある場合は質問を準備する（120分）
5. 質的調査の種類 : ドキュメント分析、会話分析、映像分析
予習内容：指定されたテキスト範囲・配布資料を読んでおく（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、復習課題に取り組む。質問がある場合は質問を準備する（120分）
6. 先行研究を読む : 参与観察の研究例
予習内容：指定されたテキスト範囲・配布資料を読んでおく（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、復習課題に取り組む。質問がある場合は質問を準備する（120分）
7. 先行研究を読む : インタビュー調査の研究例
予習内容：指定されたテキスト範囲・配布資料を読んでおく（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、復習課題に取り組む。質問がある場合は質問を準備する（120分）
8. 調査の立案・計画 : インタビュー調査の立案・計画
予習内容：指定されたテキスト範囲・配布資料を読んでおく（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、復習課題に取り組む。質問がある場合は質問を準備する（120分）
9. 調査の立案・計画 : インタビューの質問文の作成
予習内容：指定されたテキスト範囲・配布資料を読んでおく（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、復習課題に取り組む。質問がある場合は質問を準備する（120分）
10. 調査の立案・計画 : 調査倫理
予習内容：指定されたテキスト範囲・配布資料を読んでおく（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、復習課題に取り組む。質問がある場合は質問を準備する（120分）
11. 調査記録の方法と注意
予習内容：指定されたテキスト範囲・配布資料を読んでおく（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、復習課題に取り組む。質問がある場合は質問を準備する（120分）
12. 質的データの整理と分析 : 調査データのコード化とカテゴリー化
予習内容：指定されたテキスト範囲・配布資料を読んでおく（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、復習課題に取り組む。質問がある場合は質問を準備する（120分）
13. 質的データの整理と分析 : 調査データの分析
予習内容：指定されたテキスト範囲・配布資料を読んでおく（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、復習課題に取り組む。質問がある場合は質問を準備する（120分）
14. 質的データの整理と分析 : 期末課題の発表準備
予習内容：指定されたテキスト範囲・配布資料を読んでおく（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、復習課題に取り組む。質問がある場合は質問を準備する（120分）
15. 発表・まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

社会の仕組みや働き、日常生活と文化、人々の心理など、現実社会の様々なテーマに取り組み、よりよい人間社会を創造することができる能力を身につける。社会構造や社会制度といった社会の仕組みや働き、地域社会における人びとの生活や文化などについて専門的な知識を有し、さまざまなことからの社会における役割や意義を理解し、考えることができるようになる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

LMS（学習管理システム）を利用する。

実務経験の有無及び活用

なし

備考